

子供と一緒に楽しんでみよう

ごっこ遊びは、想像力、コミュニケーション能力、社会性が育まれるおすすめの遊びです。特別な道具や場所は必要ないので、子供たちが想像する世界を大切にしながら、親も一緒に楽しんでみましょう。

教えて！ハマダ先生！！「尊重しよう！子供のイメージの世界」

ごっこ遊びには正解がありません。また、現実世界にとらわれない自由さがあります。だからこそ、イメージの共有が難しく、思いが一致しないことがあります。そのような時、子供たちはどうしたら互いの思いがかなうか、どうしたら楽しくなるかを考えます。そして、設定やシナリオを柔軟に変え、自分たちのごっこ遊びを作ります。ごっこ遊びでは、想像力はもちろん、創造力、計画力、他者の視点に立つ力や自己を調整する力など、

多くの力が育まれます。時には、大人の仲立ちを必要とすることもあります。その際には、ごっこ遊びの自由さが育む力があることを踏まえ、大人の価値基準を押し付けず、子供のイメージの世界を尊重したいですね。

濱田 祥子 先生

比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科 講師
研究分野は、発達心理学、保育学／保育の心理学等に関する著書、研究多数



先輩パパママのアドバイス



想像の世界に入りきってしまって心配です。大丈夫でしょうか？



Aさん

その世界にひたっている時期だと思えます。現実世界にちゃんと戻ってきますよ。



Bさん

大丈夫です。今しかないことなので、たまには寄り添って親子でやってみるのもいいですよ。



Cさん

子供は全員自分が主役。少しずつ折り合いの付け方や協調性が身に付くので、見守ってあげて！



Dさん

大人も一緒に考え、友達の思いを代弁してあげるといいですよ。



お店さんごっこで、いつもお友達とケンカしてしまうわが子。どうしたらいいですか？

お家での子育てと教育をサポートします /
子育てのコツなどを見てみよう！

親子コミ ひろしま

検索



広島県の取組や家庭での過ごし方を掲載！

子育て・家庭教育 広島

検索



いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に
遊びがあることをお伝えしていきます。



「遊び」は「学び」

「遊び」のなかに「学び」がいっぱい！





幼児（3～5歳）シリーズ

④ ごっこ遊び編

子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです！

「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人と関わることで、主体的に学び続けるにつながります。



ごっこ遊びの場面にも 「学び」がいっぱい！

シーン1 パパママのまね遊び



おおむね
1～2歳頃

親の真似や何かのふりを
するようになります、
ごっこ遊びの始まりです。

感じる・
気付く
力

うごく
力

人とか
かわる
力

ポイント



「ごっこ遊びの効果」

- ☒ コミュニケーション能力
- ☒ 社会のルール
- ☒ 言語力
- ☒ 記憶力
- ☒ 表現力
- ☒ 想像力
- ☒ 心の発達

シーン2 おままごと遊び

うごく
力

考える
力

人とか
かわる
力

おおむね
3～4歳頃

言葉が増えると、おままごとやお店屋さん
ごっこを通してお友達と言葉のやりとり
を楽しみます。

わあ、
おいしそう！

はい、どうぞ♪

遊びながら
自然に
学んでいるんだね

いただきます♡

お肉が
食べたかったの！

今日のご飯は
お肉だよ！



おおむね
5～6歳頃

コミュニケーションが盛んになり、想像力を使った遊びが
楽しめるようになります。絵本で見た物語をベースに
自由に役作りをしながら、表現力を伸ばしています。

考える
力

やりぬく
力

人とか
かわる
力

シーン3 想像力豊かなごっこ遊び

楽しい経験や、ごっこ遊びを通して、**非認知能力等**を
育むことで、生きていくための大切な力が身に付きます。

非認知
能力とは

非認知能力とは、自己肯定感、目標に向かって
頑張る力、人とい関係築く力などの「心の
力」のことです。